

[訳文]

2006年3月26日

トヨタ・モーター・フィリピン・コーポレーション
筆頭副社長
デイヴィッド・ゴー 殿

T M P C W Aの公式回答の件

我々は、前回の会社経営陣との面談交渉において示した当組合およびI M Fの下記の姿勢を、繰り返し述べたい。

- ・ T M P C W Aは、136名の労働者の原職復帰がこのT M Pとの長期にわたる争議の唯一の公正な解決となるであろうと主張し続けるものです。
- ・ 会社側は不当に解雇した労働者を賃金の完全バックペイ付きで原職復帰させるべきであるとの信念を当組合は曲げてはいませんが、この件にかんしては、諸般の状況を考慮に入れて、もしも会社が職場復帰に同意するのであれば、会社側と当組合間の交渉の対象にしてもよいでしょう。
- ・ また、残りの労働者も全員職場復帰すべきであるというのが我々の立場ではありますが、もしも、会社が職場復帰を明確に受け入れたのちに個々の労働者が補償金提案を選択するのであれば、それは当組合にとって受諾してもよいでしょう。
- ・ すでに述べているとおり、当組合の指導者と組合員に対する告発は、争議の最終解決のため、すべて撤回されなければなりません。

我々は、上記のT M P C W Aの立場を斟酌されるよう期待する。

よろしく願います！

労働者のために

T M P C W A委員長
エド・G・クベロ